

市政活動報告

良友会会報 あすなろ

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市府内町1-4-16 河電ビル3階303号室 電話番号 097-537-0556 FAX番号 097-533-9668

ご挨拶

平成24年第2回定例議会が終了しました。

議案16件、人事議案2件、報告11件、請願陳情16件を審議したほか、わたしを入れて25人の議員が一般質問に立ちました。

また、今議会中にわたしは在職15年の永年在職議員表彰を受けました。速いものでもう15年経ったのかと感慨もひとしおですが、これもこの15年間、変わらぬご支援を頂きました良友会の皆様のお陰でありますことを、改めて肝に銘じたところです。これまでのご支援に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

また来年2月には、わたしにとって5度目の試練となります、市議会議員選挙があります。今年1月に開催しました拡大幹事会新年互礼会の席で、次の市議会議員選挙に立候補することを表明し、承認していただきましたし、部会やUIゼンセン同盟の皆さんから、支援の準備に入ったとの声も頂いています。

次の4年間も皆さんとともに、大分市の未来へ向けての活動を続けたく、全力を挙げて頑張りますので、どうか最後までのご支援をよろしくお願い致します。
井手口良一



6月19日午前10時に一般質問のため登壇しました。

視点・論点・問題点

6月19日午前10時から登壇して、一般質問、提案併せて16項目について、市長部局、教育委員会の考えを質しました。そのおもなものを報告します。

1. 防災危機管理行政

①中央消防署の立地場所の問題

中央消防署の真下に府内断層が走っていることが判明したが、その対策は？

消防局長答弁

現状の消防車両などの配置体制の中で、釈迦スペースに余裕のある署所へ所領の分散配置を行い、中央消防署の車両が出動不能となった場合でも、その後の消防活動に大きな影響を及ぼすことのないよう工夫していきたい。

井手口の視点

大分市には動けば大災害をもたらす、府内断層と呼ばれている活断層が存在します。この府内断層は逆断層型で断層面の北側が、これまでの7千年の間に3回、1回につき3メートル沈下し、震度7の直下型地震を伴うとされています。その府内断層が実は本市の中央消防署の真下にあるということも判明しました。本年、3月で大分大学の教授職を退職された地質学、地震学の専門家である千田昇氏の予測によると、この府内断層が動く確率は、今後30年で

4%とのことでした。

4%が大きい数字かどうかは別として、ひとたび直下型の大地震が発生すれば、壊滅的な打撃を受けるであろう活断層地帯に、大分市民の生命財産を守り、市域全体の防災危機管理を保障するべき、中央警察署、大分市役所、県警本部の入っている大分県共同庁舎、大分市の中央消防署が全て集中していることに、わたしは不安と焦りを感じています。

3メートルの地盤沈下がどのような結果を招くのか、想像するだに空恐ろしい話ですが、折角の大分市の誇る最新鋭の車両や機材が、たとえ消防署が無事であったとしても、付近の道路の状況次第では出動が不能になります。

今後、なるべく早い時期に消防局の移転を考えなくてはならないのですが、昨今の財政状況を鑑みれば、おいそれとはいきません。そこで次善の策として中央署の消防・救急車両の少なくとも半程度を駅南のどこかに待機させ、そこから直接出動させる待機所の設置を提案しました。

③防災士についての今後の方針

防災士の数について、大分市の今後の方針は？

総務部長答弁

大分市がこれまで養成した防災士の数は、平成23年度末現在で792人であり、597ある自主防災組織のうち491の組織に配置されてる。今後とも、すべての自主防災組織に最低一人の防災士を配置したいと考えており、防災士の数を増加させるため、資格取得の促進に取り組んでいきたい。

④防災士活動マニュアルについて

防災士の活動のための「防災士活動マニュアル」は大分市と大分市の防災士が相互の連携と情報交換によって独自に作成すべきではないか？

総務部長答弁

防災士の皆さんに活用して頂くため、平成22年度に「自主防災組織総合活動マニュアル」をNPO法人大分県防災活動支援センターと共同で作成している。これを有効活用していきたい。

井手口の視点

わたしは大分市内の健全な成年市民の全ての方が防災士になってくださり、中学生以上の子どもたち全員がジュニア防災士と呼べるような防災意識をもってくれることを願っています。今後とも、大分市の不断の努力として、防災士養成に力を入れていきたいと考えています。

防災士の養成は民間団体の養成講座と認定に依存しており、市が防災士のための活動マニュアルとしている「自主防災組織総合活動マニュアル」もまた、実は行政の作成したものではなく、同じ民間団体にその作成を委託してきました。

本来、防災士活動マニュアルは市と防災士さんたちが相互の連携と情報交換によって独自に作成し、防災訓練や全国各地での災害発災時の新しい知見に基づいて、その都度、検討し必要に応じたバージョンアップが図られるようにする必要があります。マニュアルの著作権が民間団体にあるため、その内容を自由に編集しなおすことができません。せっかく、防災士さんたちから経験に基づく意見や情報が寄せられても、それを素早く反映することができないのでは、防災士さんたちにも申し訳ありませんし、マニュアルとしての価値を下げることになり問題だと考えています。

⑤防災隣保班の創設

防災危機管理における「共助」のための、組織構成の最小単位として「防災隣保班」を提唱したいが、どう考えるか？

総務部長答弁

大分市としては、今後とも自主防災組織を地域防災の要として位置づけていくが、その下部組織としての仮称「防災隣保班」についてもその役割や必要性について検討を加えていきたい。

井手口の視点

現在、大分市は地域防災組織として、町内会を単位とした自主防災組織を整備しています。わたしもそのこと自体は高く評価するところですが、人口の多い、あるいは面積の広い町内会に属している市民の皆さんの中には、町内会単位の自主防災組織が大き過ぎ、住む場所が離れ、顔見知りではない方々が増えることに不安を抱く方もいらっしゃいます。確かに同じ町内に暮らしていても、少し離れた方同士では、お互いに面識もないことも多く、いざという時の連携した対応がとりにくいということがあります。

そこで町内会単位の自主防災会に対して、その自主防災会の基本単位として、所謂、「向こう三軒両隣」の朝夕顔を合わす機会の多い、あるいはゴミステーションを共有するなど、日頃からコミュニケーションの取りやすい、5軒から6軒ほどの単位で、防災隣保班を創設することを提案したのです。

⑥生活環境防災チェックシートの全戸配布

生活環境防災チェック表(※)を作成し、市民へ配布することを提案してはどうか。

総務部長答弁

本市は今年度、防災マニュアルを作成して、全戸配布することとしている。提案のあった「生活環境防災チェックシート」は極めて有効なものとなることから、その内容を防災マニュアルに反映させたい。

井手口の視点

自助・共助・公助による防災危機管理と言って

も、大規模災害の発災直後を想定しますと、その基本は自助です。特に大規模災害が発災した時には、その発災直後に於いては、行政もその職員も、同じ地域で同じ災害に遭遇しており、行政機能が一時的に停止することがありうるということを、わたしたちは東日本大震災の大きな教訓として学びました。身を守るための避難に必要な防災情報が全く手に入らない状況で、自分の判断と自力によって自己防衛や避難行動をとる必要さえも生じます。

とはいえ防災の専門家でも経験者でもないわたしたち市民は、災害に備えるため何から手を付けたらいいのかさえわかりません。

そこで、各家庭で防災のためにしておかなくてはならないことや、住環境の確認、家族との連絡方法、家具などの固定など、必要な項目の一つひとつを自己診断出来る「仮称・生活環境防災チェック表」を作成して、全戸配布することを提案したのです。

2. 地域経済浮揚策

シティープロモーションについて考える中、大分市の商工農政部、産業振興の部門では、大分市の郷土の歴史の中の「南蛮文化」について、どのように捉えているのか？

また、道路など都市の下部構造の整備のためのまちづくりのイメージと、大分市の地域経済浮揚のための大分ブランド開発のイメージは統一すべきでは？

商工農政部長答弁

「南蛮文化」については「大分市まちづくり自治基本条例」の前文に「大分市は古くは文語の国の国府がおかれ、十六世紀には国際交流都市を築くなど、歴史と文化の香りあふれる街であり」と謳われているように、豊後府内を日本有数の国際貿易都市

として発展させた、光り輝く当時の特徴が南蛮文化であったと受け止めている。

まちづくりのハード整備と一体感のある統一的な本市のブランドイメージを作り上げ、それを全国、そして世界に向け発信して、本市の認知度やイメージの向上を図ることは、市内の企業や農林水産業者が、市場競争において優位に立つためにも大変重要と考える。

井手口の視点

わたしの言うシティプロモーションとは大分市の魅力を、市内外に効果的に広報宣伝し、商品開発やその販売促進を図るための手法のことです。シティプロモーションという言葉はまだ耳慣れないものですが、実は全国各地の自治体で既に取り組みされており、いわば行政に求められる新しい視点・手法になっています。

日本の現状は人口減少、経済の収縮の時代の中、未曾有の不況と大災害に見舞われてしまいました。そんな厳しい国内情勢の中、様々な分野で都市間競争が厳しさを増し、市民生活の質的向上や魅力あるまちづくりが強く求められるようになりました。その都市間競争に勝利を収めるためにも、大分市の特長と魅力を活かし、都市のイメージを向上させて、市外から人や企業を呼び込むための仕掛けや仕組み



第7回大分市中心市街地南北軸整備に関する市民意見交換会の様子

づくりが必要です。

そしてそのためにはバランスのとれた、総合力のあるまちづくりを進めることとともに、市役所職員が部門の枠を越えて一丸となることが求められています。その全庁協働の活動こそがシティプロモーションなのです。

シティプロモーションは単なる情報発信ではありません。大分市の好イメージを獲得するためには、コンセプトとなる統一されたブランドイメージに基づいて、魅力ある地域資源を有機的に組み合わせたり、加工したりして付加価値を高め、それを市民との協働の運動によって地域内外へ発信します。その運動を推進する過程によって、まず市民がふるさと大分市に愛着を持ち、元気なまちづくり活動につながり、その地元愛と活動が市内外の高評価につながるという、プラスの循環を生み出すことが出来るのです。

大分市のハード面でのまちづくりはJRの連続立体交差化、ホルトホールの建設やシンボルロードの整備を含む南北軸整備、中心市街地活性化など大型プロジェクトによって推進されてきました。さらに、大分市の顔ともいべきステーションビルや駅前広場の整備も、計画から実施の段階に移ろうとしています。その大分市の顔としてのコンセプトとブランドイメージに「南蛮文化」が最もふさわしいと、わたしは考えています。

大分市の顔ともいえるJR大分駅周辺のインフラ整備が「南蛮文化」をイメージしてじっされ、産業や商業の戦略、シティプロモーション推進のための戦略のブランドイメージも、同じく「南蛮文化」とすることを願っています。

その他、河川の水門などの津波対策、消防・救急車両の緊急時通行・進入可能道路の確認、山火事な

どの際の消火用水利対策、青少年健全育成（ドラッグやハーブ対策）、教育財産・一般公共財産の総合的な管理の考え方、管理職職員の労務管理、業務委託事業発注事務の一元化などについて質問しました。

（※）生活環境防災危機管理チェックシート

議会でわたしが提案したチェックシートがどんなものか、わたしなりに作ってみました。

皆さんのお宅で災害対策について、お考えになる時の材料なればと思っています。また、もっといいアイデアや付け加えるべき項目や視点がありましたら、どしどしご意見をお寄せください。



田ノ浦ビーチ海開きでのハノハノフラのフラダンス
わたしはパワースポット（神崎）である田ノ浦ビーチでフラの全国大会をやりたいと考えています。



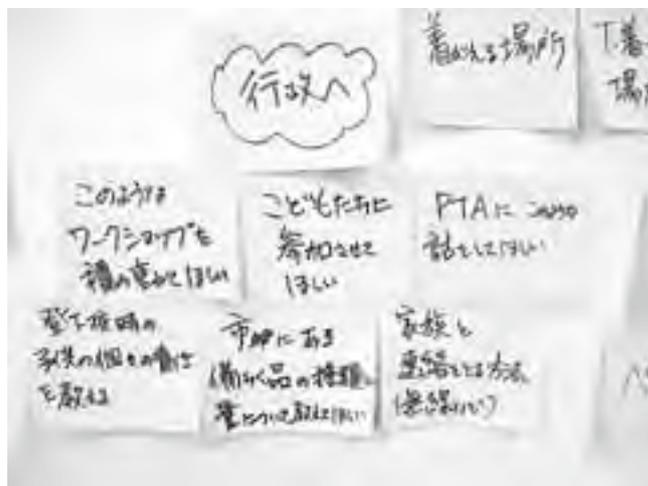
コラム サウダージの会で実施した防災ワークショップについて

良友会の女性部会「サウダージの会」は、いつも外部から講師をお招きして、女性ならではの視点から勉強しています。3月15日の「女性版防災危機管理」についての勉強会では、いつもとは趣向を変えワークショップ形式としました。

市の防災危機管理課の女性担当者には、ワークショップのコーディネーターとして参加して頂き、参加者全員が自分の考えを話すことができました。いざという時のための備えや、身を守り逃げること、避難所での問題などを、グループに分かれて話し合い、付箋に書いて模造紙に張り付けていくという、作業を通して、災害に対する考え方が少し身についたと話す参加者や、もう一度やってほしい、今度はもっと友達を誘って来るとおっしゃる参加者が多く、大変好評でした。



参加者のディスカッションでできた問題系統樹



その中、行政に期待することが実はあんまりないことに、改めて驚かされました。

議員活動報告

(4月1日～6月30日)

4月

- 2日(月) 議員共済協議会幹事会
- 10日(火) 議会活性化推進会議
- 11日(水) 上野ヶ丘中学校入学式来賓出席
総務常任委員会
- 12日(木) 金池小学校入学式来賓出席
- 13日(金) 金池幼稚園入園式来賓出席
- 16日(月) 会派政務調査視察
和歌山県和歌山市(災害時要援護者登録制度) 奈良県奈良市(ならまちナイトカルチャー事業) 三重県四日市市(市政白書事業)
- 20日(金) 議会運営委員会傍聴
- 26日(木) 議会化一斉化推進会議
- 28日(土) 連合大分メーデー中央大会

5月

- 7日(月) 議会運営委員会傍聴
- 14日(月) 議会活性化推進会議
- 15日(火)～17日(木)
総務常任委員会行政視察
沖縄県那覇市(NPO法人支援センター事業) 東京都台東区(防災センター事業)
- 19日(土) 上野ヶ丘中学校体育祭来賓出席
議会活性化推進会議
- 28日(月)～30日(水)
議員政策研究会行政視察
静岡県沼津市(津波対策事業) 宮城県仙台市(災害復興計画)
- 30日(水) 上野ヶ丘青少年健全育成協議会総会
- 31日(木) 議員政策研究会市民意見交換会西部公民館会場)

6月

- 1日(金) 会派管内視察(大分市水資源再生センター)
議員政策研究会市民意見交換会(野津原西部地区会場)
市民相談
- 4日(月) 議会運営委員会

議会活性化推進会議

- 7日(木) 広報委員会
- 10日(日) 大分県腎臓病協議会年次総会来賓出席
- 11日(月)～25日(月)
平成24年第2回定例会
- 13日(水) 議会運営委員会傍聴
- 17日(日) 市民相談(ゴミ収集問題)
- 20日(水) 活性化推進会議
- 25日(月) 議員政策研究会研修会
- 26日(火) 広報委員会
- 27日(水) 大分市優良工事表彰式



田ノ浦ビーチの海開き安全祈願祭

後援会などの活動日誌

(4月1日～6月30日)

4月

- 7日(土) 南小39会
- 8日(日) 博愛病院老健施設開所式
- 9日(月) 旭メディカル労組代議員会
- 10日(火) つかさ会年次総会
- 14日(土) 旭化成労組主催ウォーキング大会
一七会幹事会
- 15日(日) まちづくりワークショップ
- 19日(木) 22日会月例会
- 25日(水) つかさ会月例会
- 27日(金) 議会舞鶴会

5月

- 3日(木) 大分製紙労組年次大会
- 9日(水) つかさ会月例会

- 11日（金）ジョイフル労組職場大会
- 12日（土）一七会幹事会
- 14日（月）旭メディカル労組代議員会
- 19日（土）なごみ庵運営推進会議
U I ゼンセン同盟「私の主張」審査員
U I ゼンセン同盟大分県支部運営評議会
一七会幹事会
- 20日（日）佐伯市米水津間越地区朝市視察
- 22日（火）22日会月例会
- 24日（木）武漢の杜白蓮池清掃活動
- 26日（土）大分舞鶴高校17回生還暦同級会
- 27日（日）大分県詩人協会年次総会

6月

- 2日（土）一七会幹事会
- 3日（日）金池1・2・3丁目自治会総会
- 5日（火）U I ゼンセンシニア友の会大分県支部総会
- 6日（水）野分け会月例会
- 8日（金）感性教育学会大分県支部月例会
- 9日（土）旭化成労組美化運動
- 10日（日）詩誌心象編集会議
絵と詩のコラボ展実行委員会
- 12日（火）大分県商業労組会議
- 13日（水）つかさ会月例会
- 21日（木）22日会月例会
- 23日（土）東京海洋大学学長就任祝賀会
- 28日（木）イオン九州労組年次総会
- 29日（金）野分け会懇親会
- 30日（土）連合大分男女共生セミナー
緩和ケア協議会セミナー



この会報はワークスペース「樫の木」、小規模作業所「どんぐりの家」の皆さんに、折り加工と封入作業をお願いしています。

連載
リレー
コラム

国政の見通しと 来年の市議会議員選挙

都町次郎

国レベルの政界は嵐の前のような雲行きになってきたが、大分市議会もまた来年2月の改選期を意識した動きが水面下で始まったようだ。

民主党と自民党の2大政党はもちろん、既成の政党すべてに国民の厳しい目が注がれている中、大分市内の公務員や大企業の労働組合にも、政治に対するスタンスが変わりつつある兆候が見られるようになった。具体的にはどうなるのかは、まだ皆目わからないが、逆に何が起こっても不思議ではないようだ。

市会議員に政党活動はふさわしくないとの考えから無所属を通してきた、井手口市議だが、これまでは民主党政権の実現に協力していた。自分の選挙もさることながら、次の総選挙ではどうするのかと、からかい半分に聞いてみたが、さすがに井手口市議はこちらの予想とは違う答えで切り返してきた。

曰く「政権交代後、無謀運転とエンジンの故障、運転手の裏切りなどで民主党バスは迷走を続けているが、少なくともマニフェストにあり我々が期待している、し残りの公約を果たさせるためには、政権与党に居続けてもらわなくてはならない」「だから、これからも国政は外野の立場から民主党を応援していかなきゃしょうがないだろう」だそうだ。

それよりも、まずは来年の自分の選挙だと言い添えることも忘れなかった。5期目の当選を果たせば、市議会では長老クラスになる。市議として長年の経験は、それなりの力をつけ、凄みさえ出ているが、それだけに自分の選挙は国政以上の関心事なのであろうと、こちらも感心して引き下がった次第である。

都町次郎

編集者より

都町次郎は特定の個人のペンネームではありません。複数のジャーナリストによるリレーコラムのための架空の人物です。市政の裏話や歯に衣着せぬ批評をお願いしています。



若い人中心の異業種の会「野分け会」のメンバーは「角打ち」なる言葉を知りません。そこで、長浜の御手洗酒店に「角打ち」探検ツアーをやりました。

良友会会計報告

平成23年度（平成23年1月1日～12月31日）
（平成24年3月に政治資金規正法に基づいて大分県選挙管理委員会に提出したものです）

収入	前年度繰越金	1,881,450円
	会費（1,000人分）	1,438,160円
	部会・勉強会会費など	0円
	個人からの寄付金	195,000円
	雑収入（銀行利子など）	351円
	合計	3,514,961円
支出	事業費	
	あすなろ印刷費・発送費	596,125円
	その他の事業費	5,050円
	活動費	
	会議・会合参加費	106,000円
	調査研究費	19,692円
	諸費	34,872円
	事務所費	
	事務所費（家賃など）	695,263円
	光熱水費	28,083円
	備品・消耗品費	127,246円
	合計	1,612,331円
	平成23年度への繰り越し	1,902,630円

* 収入の内、会議・会合参加費は主に連合大分やU I センセン同盟関係の会議・会合への参加費です。

会費納入の御礼と会員拡大のお願い

今年も多くの皆様から会費を納入していただいています。本当にありがとうございます。少しでも多くの市民の皆様にはわたしの考え方と活動を知っていただきたくため、あすなろをお届けできる方をご紹介ください。よろしくお願い致します。

会費納入のための口座番号

大分銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 5036576

豊和銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 1035694

ゆうちょ銀行 「いでぐち良一後援会」良友会 17290-12491381

会費 一般会員（年間・1口）1,000円

賛助会員（年間・1口）10,000円

良友会事務所

大分市府内町1-4-16-303号

（御用の際は予めお電話ください）

☎ 097-537-0556

Fax 097-533-9668

ホームページ <http://www.bocra21.jp>

ブログ <http://www.bocra21.jp/blog/>

ツイッター <http://twitter.com/bocra>

フェイスブック <http://ja-jp.facebook.com/>

議会での質問の詳しい内容や映像をご覧になりたい方は大分市議会のホームページ

<http://www3.city.oita.oita.jp/kaigiroku/>

編集後記

自然はほんの少しの気まぐれのつもりでも、人間の営みはあっという間に悲嘆と絶望に打ちめされてしまう。昨年3月の大震災で、わたしたちはそのことを嫌というほど思い知らされたはず。それでも大分県を襲った集中豪雨には、改めて自然の脅威を思い知らされました。

お亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。(I)